

## 文献 ハプスブルク

- 『Arcimboldo アルチンボルド展』国立西洋美術館 2017 年  
フランセス・イエーツ『薔薇十字の覚醒』工作舎。  
同『魔術的ルネサンス』晶文社  
トゥールミン、ジャンク『ウィトゲンシュタインのウィーン』TBSブリタニカ 1978  
池内紀『ウィーンの世紀末』白水社  
池内紀『ウィーン 都市の万華鏡』音楽之友社  
池内 南川三治郎「」新潮社  
池内紀『オーストリア』  
石川達夫『マサリックとチェコ精神』成文社  
稲野強『マリア・テレジアとヨーゼフ 2 世』山川出版  
岩崎周一『ハプスブルク帝国』講談社学術新書  
岩谷秋美『ウィーンのシュテファン大聖堂』  
ヴァントルシュカ『ハプスブルク家』谷沢書店  
『ウィーン』同朋舎出版  
ウィートクロフツ『ハプスブルク家の皇帝たち』文理閣 2009 年  
上野健太郎『スペイン ハプスブルク カルロス 5 世の旅』  
エヴァンス『魔術の帝国ールドルフ 2 世とその世界』筑摩書房、1988 年  
江上照彦『会議は踊る』南窓社  
江村洋『フランツ・ヨーゼフ』東京書籍  
江村『マリア・テレジアとその時代』同  
江村洋『ハプスブルク家』講談社学術新書  
江村『中世最後の騎士』中央公論  
江村『ハプスブルクの女たち』講談社現代新書  
江村『ハプスブルク家史話』東洋書籍 2004 年  
江村洋『カール 5 世』河出文庫。  
江村洋『マリア・テレジア：ハプスブルク唯一の女帝』河出文庫。  
フランツ・エンドラー『ヨハン・シュトラウス』音楽之友社  
エヴァンス『魔術の帝国ールドルフ 2 世とその世界』上下、筑摩書房、1988 年  
大井『世界とつながるハプスブルク帝国』  
ロビン・オーキー『ハプスブルク君主国』NTT出版  
大津留『ハプスブルク帝国』山川出版  
大津留編『ハプスブルク史研究入門』昭和堂  
大津留厚『ハプスブルク帝国』平凡社  
大津留『ハプスブルクの実験』中公新書  
『オーストリア スイス 現代史』山川出版。  
『オーストリア』早稲田大学出版部。  
カウフマン『綺想の帝国』工作社 1995 年  
加瀬俊一『王冠と恋』文藝春秋

加賀美雅弘『ハプスブルク帝国を旅する』講談社現代新書  
上条勇『民族と民族問題の社会思想史』梓出版  
加藤雅彦『ハプスブルク帝国』河出文庫  
加藤雅彦『図説 ハプスブルク帝国』ふくろうの本  
川島ルミ子「最後の日のマリー・アントワネット」講談社＋あ文庫  
川村清夫『ターフェとバーデニーの言語令』中央公論事業出版  
川村清夫『オーストリア ボヘミア和協』  
川村清夫『プラハとモスクワのスラヴ会議』  
ジャン・デ・カール『麗しの皇妃エリザベート』中央公論社  
菊池良生『ハプスブルクをつくった男』講談社現代文庫  
菊池良生『戦うハプスブルク』講談社現代文庫  
菊池良生『図解雑学ハプスブルク家』  
菊池良生『検閲帝国ハプスブルク』河出書房新社  
菊池良生「ハプスブルク帝国の情報メディア革命」集英社新書  
菊池良生『超絶ハプスブルク家』  
響庭孝男『ウィーン多民族文化のフーガ』  
桐生操『ハプスブルク家の悲劇』  
桐生裕子『近代ボヘミア農村と市民社会』  
窪昭子『オーストリアの民話』  
久保田正志『ハプスブルク家かく戦えり』  
クビツェク『アドルフ・ヒトラーの青春』三交社 2005  
倉田稔『ハプスブルク歴史物語』NHK ブックス  
倉田稔『ハプスブルク文化紀行』NHK ブックス  
倉田稔『ウィーンの森の物語』NHK ブックス  
倉田 稔『若きヒルファディング』丘書房、  
ペトル・クラール『プラハ』成文社 2006 年  
パウル・クリストス『マリー・アントワネットとマリア・テレジア 秘密の往復書簡』岩波書店  
クレナー『オーストリア労働運動史』誠信書房  
カトリヌ・クレマン『皇妃エリザベート』創元社  
ピーター・ゲイ「フロイト」、  
『芸術新潮』2019年11月。  
アレクサンドル・コイレ『コスモスの崩壊』白水社、  
ゴットシャルヒ『ヒルファディング』ミネルヴァ書房  
河野涼「ハプスブルクとオスマン帝国」講談社選書メチエ  
小谷匡宏『ハプスブルク帝国のアールヌーヴォー建築』  
小池修一「エリザベート 愛と死の輪舞」角川文庫  
コーン『ハプスブルク帝国史入門』恒文社  
佐々木洋子『ハプスブルク帝国の鉄道と汽船』  
佐竹謙一『浮気な国王フェリペ四世の宮廷生活』岩波書店

ヤーノシュ・サーヴァイ『ハンガリー』白水社 1999；  
 薩摩秀登『物語 チェコの歴史』中公新書 2006 年  
 シューファート『エリザベート』  
 『神聖ローマ帝国皇帝ルドルフ 2 世の脅威の世界 展』文化村 2017  
 下津清太郎『ハプスブルク家』近藤出版  
 『社会思想』社会思想社 3.2  
 ゲオルグ・シュタットミュラー『ハプスブルク帝国史』刀水書房  
 ショースキ『ウィーン世紀末』岩波書店  
 アーネスト・ジョーンズ『フロイトの生涯』  
 シュタイナー『1848年 ウィーンのマルクス』  
 シュタイン『ヒルファディング伝』成文社、  
 ジョンストン『ウィーン精神』1, 2 みすず書房  
 篠原・中澤『ハプスブルク帝国政治文化史』  
 『神聖ローマ帝国皇帝ルドルフ 2 世の脅威の世界 展』文化村 2017  
 スタンダール『モーツァルト』東京創元社  
 『スペイン・ポルトガル史』山河出版  
 スナイダー『赤い大公』  
 積田淳子『花と緑が語るハプスブルク家の意外な歴史』朝日選書  
 積田淳子『ハプスブルク家の食卓』新人物文庫  
 セケッド『図説 ハプスブルク帝国衰亡史』  
 丹後杏一『ハプスブルク帝国の近代化とヨーセフ主義』  
 チャベック『マサリックとの対話』成文社  
 『中欧史』山川出版  
 『チェコスロヴァキア史』クセジュ 白水社  
 ツェルナー『オーストリア史』彩流社  
 シュテファン・ツヴァイク『マリー・アントワネット』上下 角川文庫  
 シュテファン・ツヴァイク『昨日の世界』  
 塚本哲也『エリザベート』文藝春秋  
 塚本哲也『メッテルニヒ』文芸春秋  
 塚本哲也『わが青春のハプスブルク』文芸春秋  
 塚本哲也『ナポレオンの皇妃から公国妃へ マリー・ルイズ』文芸春秋  
 トゥールミン、ジャンク『ヴィットゲンシュタインのウィーン』平凡社  
 ドヴァレスキエル『マリー・アントワネットの最後の日々』上下、原書房  
 『東欧史』山川出版社  
 『閉じた世界から無限宇宙へ』みすず書房。  
 中澤達也『近代スロヴァキア国民形成思想史研究』  
 中島義道『ヒトラーのウィーン』新潮社；ちくま文庫  
 ナスコ『カール・レンナー』成文社  
 ナスコ『カール・レンナー その蹉跌と再生』成文社  
 中野京子『名画で読む ハプスブルク家の女たち』

中野京子『ハプスブルク 1 2 の物語』 光文社  
 中丸明『ハプスブルク一千年』 新潮社  
 西川和子『スペイン フェリペ 2 世の生涯』 採流社  
 西川『狂女王ファナ』 採流社。  
 西川和子『スペインの貴公子フアンの物語』 彩流社  
 西川和子『オペラ「ドン・カルロス」のスペイン史』 採流社  
 エブリン・ファー『マリー・アントワネットの暗号』 河出書房新社  
 オットー・バウアー『民族問題と社会民主主義』 お茶の水書房  
 オットー・バウアー『オーストリア革命』 早稲田大学出版  
 馬場優『オーストリア・ハンガリーとバルカン戦争』 法政大出版  
 『ハプスブルク帝国』 新人物往来社  
 『ハプスブルク ぴあ』  
 『ハプスブルク家とウィーン百科』 新人物往来社  
 『ハプスブルク帝国のビーダーマイヤー』 中央大出版  
 『ハプスブルク物語』 新潮社  
 『ハプスブルク家の人々』 新人物文庫  
 『ハプスブルク夜話』  
 パムレーニ編、『ハンガリー史』 1. 2. (仏訳も参照している)  
 バラージュ・エーヴァ『ハプスブルクとハンガリー』 成文社  
 ヘルマン・バル『世紀末ウィーン文化評論』 岩波文庫  
 『バロック王国』 慶応大出版  
 『ハンガリー史』 1. 2. (仏訳も参照している) Pamleni hrsg., Geschichte Ungarns.  
 アリス・ハンスン『音楽都市ウィーン』  
 『美術手帖』 特集ウィーン、1979年1月号  
 平下斐雄『ハプスブルク家700年の顔の変化』 文藝春秋企画出版  
 フックス『世紀末オーストリア』 昭和堂  
 ブラウンタール『社会主義の第三の道』 梓出版  
 福永溪『ウィーン秘密』 上下  
 ファイグル『ハプスブルク帝国 最後の皇太子』 朝日選書  
 アルベルト・フックス『世紀末オーストリア』 昭和堂  
 フリント『プラハ カフカの街』 成文社  
 『プラハ』 Vitalis 2018  
 グリゴール・ペガール『チタ』  
 アントン・ベリンカ『カール・レンナー入門』 成文社  
 ベラー『世紀末ウィーンのユダヤ人』  
 S・ペラー『フランツ・ヨーゼフとハプスブルク帝国』 刀水書房  
 ベレンド、ラーンキ『東欧経済史』 中央大学出版部  
 ジョセフ・ペレス『ハプスブルク スペイン 黒い伝説』  
 ピエール・ボヌール『チェコスロヴァキア史』 白水社  
 ボリスペール『マリー・アントワネットは何を食べていたのか』

堀野収『ウィーン素描』JTB  
 ピエール・ボヌール『チェコスロヴァキア史』白水社 1969年  
 マイオリノ『アルチンボルド』ありな書房  
 前川道介『愉しいビーダーマイヤ』  
 マサリック『ロシアとヨーロッパ』全三巻、成文社  
 ゲオルク・マルクス『うたかたの恋と墓泥棒』青山出版社  
 マッケイ『プリンツ・オイゲン・フォン・サヴォイ』  
 マホフスキー『革命家皇帝ヨーゼフ2世』藤原書店。  
 増谷英樹『ビラの中の革命』東大出版 1987年  
 増谷英機『歴史の中のウィーン』日本エディターズスクール出版部  
 水谷彰良『サリエリ』音楽之友社  
 南川三治郎「」新潮社  
 南川三治郎『ハプスブルク家 美の遺産を旅する』家庭画報特別編集  
 南塚信吾『東欧経済史の研究』ミネルヴァ書房  
 南塚信吾『図説ハンガリーの歴史』ふくろうの本；  
 『メッテルニヒの回想録』恒文社  
 メルツ『シュンペーターのウィーン』  
 森本哲郎『ウィーン』  
 八木紀一郎『オーストリア経済思想史研究』名大出版  
 山之内克子『ハプスブルクの文化革命』講談社選書メチエ  
 山之内克子『物語オーストリアの歴史』中公新書  
 矢田俊隆『近代中欧の自由と民族』吉川弘文館  
 矢田俊隆『近代オーストリアの歴史と文化』山川出版  
 矢田俊隆『ハプスブルク帝国史研究』岩波書店  
 矢田俊隆『オーストリア現代史の教訓』刀水書房  
 山根銀次『ベークト研究』  
 テア・ライトナー『ハプスブルクの女たち』  
 良知力『青きウィーンの乱痴気』平凡社  
 良知力『向こう岸からの世界史』未来社  
 良知力『1848年の社会史』  
 ライティッヒ『女帝マリア・テレジア』上下  
 ラペール『カール五世』  
 『リヒテンシュタイン 華麗なる侯爵家の秘宝』朝日新聞社、東映 2012-13年  
 『リヒテンシュタイン侯爵家の至宝展』TNCプロジェクト 2019-20  
 リケット『オーストリア史』成文社  
 『ルドルフ2世の脅威の世界展』文化村 2017年  
 『歴史群像』22, 学研  
 パウル・レンドヴァイ『ハンガリー人——光と影の千年史』信山社；  
 ロマン・ロラン『ベークト』  
 渡辺護『ウィーン音楽文化史』上下 音楽之友社

## 文学

ヨーゼフ・ロート『ラデツキー行進曲』  
ロベルト・ムジール『特性のない男』  
シュティフター、編著『ウィーンとウィーン人』。  
シュティフター『ヴィティコー』、  
シュティフター『晩夏』  
ハーシェク『兵士シュヴェイクの冒険』  
ハシェク短編集 平凡社  
ハシェク風刺短編集 平凡社  
ザッヘル・マゾッホ『毛皮を着た貴婦人』  
イラーセク『暗黒』上下、成文社  
ユリーチェク『彗星と飛行機と幻の祖国と』成文社  
『イヴァン・ツァンカル作品選』禪六巻、成文社  
『チェペック小説選』全六巻、成文社  
アヴィグドル・ダガン『古いシルクハットから出た話』成文社  
『ライムント喜劇全集』上下、中央大学出版  
カフカ

## 小説

藤本ひとみ『皇妃エリザベート』講談社文庫  
藤本ひとみ『ハプスブルクの宝剣』  
藤本ひとみ『王妃マリー・アントワネット』角川文庫  
遠藤周作『王妃マリー・アントワネット』上下、新潮文庫  
エヴリーネ・ルヴェ『王妃マリー・アントワネット』  
『王妃マリー・アントワネット ビジュアル選書』新人物往来社  
クロード・アネ『うたかたの恋』  
伊藤哲夫『神聖ローマ帝国皇帝ルドルフ2世との対話』井上書院  
シェーファー『アマデウス』

## 映画

「ウィーンに燃えて」1988年、ツヴァイク原作、フェイ・ダナウエイ主演、米、西独。  
「うたかたの恋」リトヴァク監督、シャルル・ボワイエ、ダニエル・ダリユー、1936年。  
リメイク、オマー・シャルフ、カトリーヌ・ドヌーヴ、1968年 新 あり。  
「マイヤーリング」1957 アメリカ、主演 オードリー・ヘップバーン、メル・ファーラー  
「エリザベート 愛と哀しみの皇后」クリスティアーナ・カポメンディ主演。  
「エリザベート プリンセス・シシー」ロミー・シュナイダー主演  
「エリザベート2、若き皇后シシー」1956年 ロミー・シュナイダー主演  
「エリザベート3、運命の歳月」1957年 ロミー・シュナイダー主演  
「エゴン・シーレ」2016年、オーストリア・ルクセンブルグ合作、ベルナー監督、ノア

サーベトラ主演。

「会議は踊る」1931年 ドイツ リリアン・ハーヴェイ主演

「ルートヴィヒ」 ロミー・シュナイダー主演

「夏の嵐」1954年、原作・カミロ・ボイストユ「官能」、イタリア、ルキノ・ヴィスコンティ監督、アリダ・ヴァリ、ファーリー・グレンジャー主演。

「サンセット」メネス・ラースロー監督、2018年 ハンガリー・仏

「シュューベルトのセレナーデ」1933年：

「未完成交響曲」1959；2010年

「シュューベルト物語」イタリア 1970年 アル・バーノ主演

「みじかくも美しく燃え」

「アマデウス」ピーター・シェーファー原作、1984年、トム・ハルス主演。ミロス・フォアマン監督、アカデミー賞各種獲得

「プラハのモーツアルト」2016年 チェコ・英

「ナンネル・モーツアルト」2010年、仏。監督・脚本 ルネ・フェレ。

「不滅の恋 ベートーベン」1994年 アメリカ、コロンビア映画

「敬愛なるベートーベン」2006年 英、ハンガリー合作。エド・ハリス主演。

「楽聖ベートーベン」1936年 伝記映画

『マリー・アントワネットに別れを告げて』ベノワ・ジャコー監督

主に、私の持っていた物、持っている物を中心に

Hellmut Andics, Das oesterreichische Jahrhundert. Wien Muenchen、4冊もの。

H.Vass, Die Arbeiterbewegung in der ungarischen Geschichtsforschung. Budapest 1975

Aretin, Der Aufgeklärte Absolutismus. 1974

Die Aufloesung des Habsburgerreichs. Wien 1970

Austromarxismus, Frankfurt a. M. 1970

Viktor Adler Aufsätze, Reden und Briefe. Hrsg. v. Parteivorstand der sozialdemokratischen Arbeiterpartei Deutsch-Oesterreich. Wien 1929

Viktor Adler Briefwechsel mit August Bebel und Karl Kautsky, Gesammelt u. erläutert von F. Adler, Wien 1954

Peter F. Barton, ed., Im Lichte der Toleranz. Wien

Bauer, Otto: Die Nationalitätenfrage und die Sozialdemokratie. in: Marx-Studien, Bd. 2, Wien 1907 邦訳あり

Otto Bauer und der dritte Weg, Frankfurt / New York 1979.

Otto Bauer Werkausgabe, 9 Bde. Wien 1975- .

Otto Bauer, Das Weltbild des Kapitalismus 邦訳あり

Otto Bauer. Eine Auswahl aus seinem Lebenswerk, Wien 1961.

Otto Bauer, Der Balkankrieg und die deutsche Weltpolitik. Berlin 1912

Gerhart Baron, Der Beginn。オーバー・エステライヒの労働者教育協会の始まりの歴史。

Heinrich Benedikt, Die Monarchie des Hauses Oesterreich. Wien

詳しく短いハプスブルク史。部分訳が小樽社会史国際研究所HPにあり

Heinrich Benedikt, Die wirtschaftliche Entwicklung in der Franz Joseph Zeit. Verlag Herold  
Wien Muenchen 1958

Berend and Ranki, Economic Developmemt in East-Central Europe in the 19th and 20th  
Centuries. Columbia Univ.

Victor Bibl. Kaiser Joseph II. Wien und Leipzig

Victor Bibl. Der Zerfall Oesterreichs. 1922

Victor Bibl. Die Tragoedie Oesterreichs. Leipzig Wien 1932

Blanning, Joseph II and Enlightend Despotism. 1970

Bottmore and Goode ed., Austro-Marxism. London 1978.

Braunthal, Otto Bauer. Eine Lebensbild. in : Otto Bauer. Eine Auswahl aus seinem Lebenswerk,  
Wien 1961.

Bruegel, Ludwig: Geschichte der oesterreichischen Sozialdemokratie, 5. Bde. Wien 1923-25.

Eugen Boehm-Bawerk and Boehm-Bawerk's criticism of Marx by Rudolf Hilferding. New  
York 1959

Buschbeck, Wissenschaft der letzten 150 Jahre in Oesterreich. Zuerich/Wien

R. Charmatz, Oesterreichs innere Geschichte von 1848 bis 1907. Leipzig

R. Charmatz, Geschichte der auswaertigen Politik Oesterreichs . Leipzig-Berlin

Richard. Charmatz, Lebensbilder aus der Geschichte Oesterreichs . Wien

Edward Crankshaw, The Fall of the House of Habsburg. London 1974、初版は1963年。著者は  
ジャーナリスト。1848年から崩壊までを扱う。

Petr Corney, Great Stories in Czech History. Prah 2005

Ludwig Graf Crenneville, Oesterrichisch-Ungarns Wirtschafts-politik, Balkanpolitik  
Staatsverfassung. Wien/Leipzig 1910

Deak, The lawful revolution. New York 1979

I. Dioszegi, Die Oesterreichisch-Ungarische Monarchie in der internationalen Politik im letzten  
Drittel des 19. Jahrhubderts. Budapest 1970

I. Dioszegi, The Independence Oppsition and the Monachy's foreign policy 1900-1914, Budapest  
1975

Istva'n Dio'szegi, Oesterreichisch-Ungarn und der franzoesisch-preussische Krieg 1870-1871.  
Akade'miai Kiado' Budapest 1974. 1965年にハンガリー語で出された。帝国の外交政策を扱  
う。

Drabek, Haeusler, Schubert, Stuhlpfarrer, Vielmetti の共著、Das oesterreichische Juedentum.  
Jugent und Volk Wien Muenchen 1988

Heinrich Drimmel, Oktober Achtundvierzig. Wien 1978

T. Erenyi, Die Frage der Revolution und der Reform in der Arbeiterbewegung  
Oesterreich-Ungarns um die Jahrhundertwende. Budapest 1975

Emil Franzl, Franz Ferdinand d'Este. Heraold 1964 Wien Muenchen

Fejtoe, Joseph 2. Stuttgart 1956

Fink, Joseph II. 1990



Fink, Die oesterreichisch-ungarische Monarchie als Wirtschaftsgemeinschaft. Muenchen 1968

Albert Huchs, Geistige Stroemungen in Oesterreich. 1978 Wien

Eliska Fucikova, Prague in the reign of Rudolf II, Prague 2014

Alexander Gerschenkron, An Economic Spurt that failed. Princetone 1977

Geschichte Oesterreichs in Stichworten. Wien

Glasser, Ernest: Im Umfeld des Austro-Marxismus. Wien Muenchen Zuerich 1981.

Gustav Klimt. hrsg. Breicha. Salzburg 1978

Gottschalch, Wilfried : Strukturveraenderngen der Gesellschaft und politisches Handeln in der Lehre von Rudolf Hilferding, Berlin 1962. 邦訳あり

Karl Gutkas, Kaiser Joseph II. Wien Darmstadt

Charles A. Gulick, Oesterreich von Habsburg zu Hitler. Bande V. Wien 1948

Jacque Hannak, Karl Renner und seine Zeit. Wien 1965.

Johannes Hawlik, Der Buergerkaiser Karl Lueger und seine Zeit. Herold Verlag Wien／

Hugo Hantsch, Geschichte Oesterreichs, 2 Bde.

Fred Hennings, Das Josephinische Wien. Wien Muenchen 1966

Hans Hautmann/ Rudolf Kropff, Die oesterreichische Arbeiterbewegung vom Vormaez bis 1945  
 オーストリア労働運動史の通史。それゆえ前半がハプスブルク時代。著者は共にリンツ大の助手だった。リンツでは Ludwig Bolzmann - Institut が労働運動史の研究と出版をしている。これはそのシリーズの1つ。

Friedrich Hertz, Die Produktionsgrundlagen der oesterreichischen Industrie vor und nach dem Kriege. Wien Berlin

Friedrich Hertz, Die Schwierigkeiten der Industriellen Produktion in Oesterreich. Wien Leipzig 1910

Josef Hindels, Otto Bauer ist jung geblieben 1981 Wien

Alfons Huber, Geschichte Oesterreichs. Baden Leipzig

Huertas, Economic Grouth and Economic polickey in a multinatinal Setting. new York 1977

Intellectuals and Revolution London 1979

Janetschek, Franz Joseph. Amalthea

Oskar Ja'szi , The Dissolution of the Habsburg Monarchy. Chicago and London 1971 ed.

Ludwig Jedlicka, Ein Heer im Schatten der Parteien. Graz-Koeln 1955. 国会図にあり

Robert A. Kann, A History of the Habsburg Empire, 1526－1918. University of California Press, Berkeley・Los Angels・London 1974 独訳あり〔書評：『三田学会雑誌』70巻4号、1977年8月〕この研究は大変広い展望と深い知識に支えられたもので、また学際的な性格をもつ。

Robert A. Kann, Das Nationalitaetenproblem der Habsburgermonarchie. 2. Bde. Gratz/Koeln 1964 ハプスブルク民族問題の基本書。

Sugao Kawamura, The Bohemian State-Law and the Bohemian Ausgleich.Chuokoron Jigyo Shuppan

Friederich Kleinwaechter, Von Schoen-Brunn bis St.Germain. Gratz 1964

Else Klose, Zeittafel der oesterreichischen Arbeiterbewegung. Wien 1967

Das Konigreich Ungarn

Helmut Konrad, Nationalismus und Internationalismus. Wien 1976

Kulemann, Peter, Am Beispiel des Austromarxismus. Hamburg 1979.

Kallbrunnen, Maria Theresias Politisches Testament. 1952

Kurata, Minoru, Rudolf Hilferding. Bibliographie seiner Schriften, Artikel und Briefe. in: Internationale Wissenschaftliche Korrespondenz. 1974 Sep.

Kurata, Minoru: R. Hilferding und das Finanzkapital.

Jurij Krizek, die wirtschaftliche Grundzuege des oesterreichisch-ungarischen Imperialismus in der Vorkriegszeit praha 1963

Lindner, Der Mann ohne Vorurteil.

Link, The Emancipation of the Austrian Peasant. N.Y, 1974

Leser, Norbert, Zwischen Reformismus und Bolschewismus. Wien 1968 (書評：上条、伊東)

Eugen Lopuszanski, Die Volkswirtschaft Oesterreichs 1900 bis 1904. Wien 1904

Maas, Der Josephinismus. in 5 Bde. 1952-60

C. A. Macartney, The Habsburg Empire. 1790—1918. The Macmillan Company New York p. xiv + 886. 1969 年版がアメリカ版の初版。大部のもので、ヨーゼフ 2 世の後からハプスブルクの終わりまで論ずる。著者は、多数のハプスブルク史の著書を持つ。

Maerz, Eduard: Oesterreichischen Industrie- und Bankpolitik in der Zeit Franz Josephs I. Wien 1968.

Dorothy Gies McGuigan, The Habsburgs. N.Y. 1966

Ekhard Mahovsky, Die Furche von Slawikowitz und andere Anekdoten um Kaiser Joseph II. Wien Muenchen 1980 邦訳『革命家皇帝ヨーゼフ 2 世』藤原書店。

Hans Magenschab, Joseph II.. Verlag Styria 1979

Magyarország története a honfoglalástól 1849-ig

Thomas Martinek, Kaffeehauser in Wien. Wien 1990

Arthur J. May, The Passing of the Habsburg Monarchy 1914-1918. 2 vols. Univ. of Pennsylvania Press

Maria Theresia und ihre Zeit.

Peter Marshall, The Mercurial Emperor. London 2007

Herbert Matis, Oesterreichs Wirtschaft 1848/1913. Berlin

Meisterwerke im Kunsthistorischen Museum Wien

Carl Menger, Beiträge zur Währungsfrage in Oesterreich-Ungarn. Jena 1892

Mikolitzky, Oesterreich. das grosse 18. Jahrhundert. Wien 1967

Mommsen, Hans: Die Sozialdemokratie und die Nationalitätenfrage im Habsburgischen Vielvölkerstaat, Wien 1963.

Mommsen, Hans: Arbeiterbewegung und Nationale Frage. Goettingen 1979

Naumann, Friedrich: Mitteleuropa, Berlin 1915.

Nitza, 1848. Wien Muenchen Zuerich

Alexander Novotny, 1848. Wien Graz Graphia 1948

Karl Obermann, Die Ungarische Revolution von 1838/49 und die demokratische Bewegung in

Deutschland, Budapest 1971  
 Oesterreichisch-ungarisches Rotbuch.  
 Das oesterreichische Judentum. Wien Muenchen 1988  
 Oesterreichische Parteiprogramme. Wien 1967  
 Der Oesterreichische Gewerkschaftsbund. Wien  
 Oesterreich im Jahre 1918. Wien 1968  
 Der oesterreichsh-ungarische Ausgleich von 1867. Wien Muenchen 1967  
 Oesterreichs Bundesheer. Wien  
 Hautmann/Kropf, Oesterreichs Arbeiterbewegung vom Vormärz bis 1945. 2te Aufl. Wien 1974  
 Die oesterreichische Sozialdemokratie im Spiegel ihrer Programme. Wien 1964  
 Robin Okey, The Habsburg Monarchy. N.Y.2001  
 Gustav Otruba, Die Wirtschaftspolitik Maria Theresias. Wien 1963  
 Padover, The Revolutionary Emperor, Joseph the Second. 1937  
 Pamleni hrsg., Geschichte Ungarns.  
 Alan Palmer, Twilight of the Habsburgs. London 1994  
 Charlotte Pängels, Die Kinder Maria Theresias. Muenchen 1980 マリア・テレジアの16人の  
 こどものうち、14人を扱う。  
 Pfabigan, Alfred: Max Adler. Frankfurt a. M., New York 1982.  
 Pfoser, Literatur und Austromarxismus. Wien 1980  
 Walter Pollak, Sozialismus in Oesterreich. Wien 1979  
 Alfred f. Pribram, Austrian Foreign Policy, 1908-1918. USA 1971  
 第1次大戦の前と最中のオーストリアの外交史  
 Pietranera, G.: R. Hilferding und die ökonomische Theorie der Sozialdemokratie. Berlin 1974.  
 R. John Rath, The Viennese Revolution. USA 1977  
 Walter Rauscher, Karl Renner. Wien 1995  
 Rickert, Geschichte Oesterreichs. Wien 英語版もあり。邦訳『オーストリア史』成文社  
 Karl Renner Eine Bibliographie. Wien 1970  
 Renner, Karl: An der Wende zweier Zeiten. Bd. I, 2. Aufl., Wien & Zuerich 1946.  
 Bradler-Rottmann, Die Reformen Kaiser Joseph II.. 1976  
 Richard Raithal, Maria Theresia und Joseph II.. Wien 1954  
 Helmut Reinalter, hrsg., Joseph II. und die Freimaurer. Wien 1987  
 Heinrich Reschauer, Das Jahr 1848. 2 Bde. Wien 1876  
 Roman Rosdolsky, Die Bauernabgeordneten im konstituierenden österreichischen Reichstag  
 1848-1849. Wien 1978  
 Richard Rudolph. Banking and industrialization in Austria-Hungary. Cambridge Univ.Press  
 Ruether, Bernard: Die Auseinandersetzung zwischen Boehm-Bawerk und Hilferding ueber  
 Marx, Koeln 1926.  
 Salkind, A.: Renner. [Wien] 1930.  
 Johann Slokar, Geschichte der österreichischen Industrie und ihrer Foerderung unter Kaiser  
 Franz I. Wien 1914.

Alan Sked, The Survival of the Habsburg Empire. Radetzky, the Imperial Army and the Class War, 1848. Lond. & N.Y.1979  
 Schorske, Carl E.: Fin de siecle Vienna. New York 1981.  
 William Smaldone, Rudolf Hilferding. 1998  
 Social-Economic Researches on the History of East-Central Europe.Budapest 1970  
 Sozialdemokratie und Habsburgerstaat. Wien 1988  
 Spitzmueller, Kaiser Franz Joseph als Staatsmann. Wien 1935  
 Stein, Alexander: Rudolf Hilferding und die deutsche Arbeiterbewegung. Hamburg [1947].  
 Steiner, Herbert, Bibliographie zur Geschichte der oesterreichischen Arbeiterbewegung. 3 Bde. Wien 1962-70.  
 Steiner, Karl Marx In Wien, Wien 1978.  
 Sozialistische Partei Oesterreichs: Karl Renner. 1951.  
 Studien zur Geschichte der oesterreichischen Monarchie. Budapest 1961  
 William Thomas Smaldone, Rudolf Hilferding.  
 Anton Tauscher, Wirtschaftsgeschichte Oesterreichs. Berlin 1974.  
 Hans Tietze, Die Juden Wiens. Wien 1987  
 Ferdinand Tremel, Wirtschafts- und Sozialgeschichte Oesterreichs. Von den Anfängen bis 1955. Wien 1969.  
 Berend and Ranki, Under-development and Economic Growth. Budapest  
 Valjavec, Der Josephinismus. 1945  
 Vienna and young Hitler  
 Rossella Vodret, Caravaggio. l'opera completa. Milano 2009  
 Leo Valiani, The End of Austria-Hungary. London 1973, 1966 edition  
 Ernest Violand, Die soziale Geschichte der Revolution in Oesterreich 1848. Wien 1984  
 Volker Wellhoener, Grossbanken und Grossindustrie im Kaiserreich. Goettingen 1989  
 Wiener Biedermeier. Wien 1977  
 Hubert Hinterschweiger, Wien Mittelalter. 2010  
 Winter, Der Josephinismus. 1962  
 Wirtschaftsgeschichte Oesterreichs. Wien 1971  
 Winter, Revolution, Neoabsolutismus und Liberalismus in der Donaumonarchie. Wien 1949  
 Z. A. B. Zeman, The Break up of the Habsburg Empire. 1914-1918. London 1961  
 Zoellner, Geschichte Oesterreichs. Wien. 邦訳『オーストリア史』細流社、書評：倉田  
 Zweig, Stefan: Die Welt von Gestern. Frankfurt a. M.

Ortmann, Okt 1848  
 Kranke Mann an der Donau  
 Das Konigreich Ungarn